



プロバスだより 第344号

2024年7月11日発行

編集・発行：情報委員会

東京八王子プロバスクラブ

創立1995年10月9日

2023～2024年度 テーマ

楽しみながら学び合い、支え合おう

第344回例会

日時 令和6年6月13日(木) 12:00～14:00

場所 八王子エルシィ

出席者 32名 出席率 72.7%

(会員総数44名、欠席9名、休会3名)

1. 開会 土屋例会委員長

第344回例会を開催します。

本日の出席者数は32名、出席率は72.7%です。

2. 会長挨拶 持田会長

今年度最後の例会となりました。この一年皆さまには本当にご協力を頂きお陰様でほとんどの当初計画を終えることができました。各委員長はじめ各会員の皆様のご理解と活動への参加によるものと思います。クラブのメイン行事となりました「合唱祭」・「宇宙の学校」の開催は、ご承知の通り大変なご好評を得て実施でき、成功裏に終わることができました。

唯一残念でしたのは、近年になく退会者の数が多かったことです。中には亡くなった仲間も数人いらっしゃいました。含めて7名の会員でした。クラブが高齢化している現状を表していることもあると思います。新入会員の加入もありましたが、総会員数が減少したことは事実です。

今年度のスローガンに「楽しみながら学び、支え合おう」を掲げましたが、ますます支え合いながらクラブ活動を維持していくことが大切になりました。会員それぞれご事情がある場合がありますので、活動に参加できる会員には複数の役割にも関わって頂き、地域への貢献を身の丈に応じて貢献できるクラブであり続けたいと思います。

本日は第2部に年度末懇親会があります。例会委員会がいろいろ企画をしておりますので、是非最後までお寛ぎ頂きたいと思います。

一年間ご協力頂きまして、ありがとうございました。

3. ハッピーコイン披露

塚本副会長からハッピーコイン24件の披露がありました。(3～4 ページに掲載)

4. バースデーカード贈呈

6月生れの塚本吉紀会員、一瀬明会員、持田律三会員に池田会員手作りのバースデーカードが贈られました。



写真は左から 持田会員、塚本会員、一瀬会員

5. 次年度の人事構成・役員分掌

塚本副会長より2024年度の役員人事の発表がありました。(敬称略)

- 会長 塚本 吉紀
- 副会長 一瀬 明
- 幹事 齊藤万理子
- 副幹事 有泉 裕子
- 例会委員長 委員長 岩島 寛
- 副委員長 井上 克 土屋美千代
- 河西 成幸
- 情報委員会 委員長 内山 雅之
- 副委員長 河合 和郎 丸山 恭
- 会員・研修委員会 委員長 池田ときえ
- 副委員長 杉山 友一 根本 照代
- 泉 道夫
- 地域奉仕委員会 委員長 持田 律三
- 副委員長 飯田富美子 馬場 征彦
- 山本 通陽

「宇宙の学校プロジェクト」

リーダー 杉田 信夫

サブリーダー 下山 邦夫 野口 浩平
交流担当 田中 信昭 持田 律三
30周年行事 杉山 友一
会計監査 馬場 征彦 泉 道夫
会長委嘱

全日本プロバス協議会 顧問 立川富美代

6. 幹事報告

齋藤幹事

28期最後の例会となりました。持田会長の助言などを受け、私なりの幹事としての職務が果たせたのではないかと感じております。持田会長が掲げる支え合いの精神による各委員長からの協力にも感謝いたします。理事それぞれのお人柄が反映されていて良い経験をさせていただきました。

理事会では、業務遂行に支障が出ないように一生懸命努力を積み重ねてきました。新しい事への受け入れの難しさを感じています。

次期も引き続き幹事をさせていただきます。

5月にはお元気な姿を見せて頂いた濱野幸雄会員が5月23日心不全でお亡くなりになりました。88歳でした。プロバスに入って初めてのお食事の時ナイフとフォークをととても上手に使われプロバスのダンディぶりを披露されてくださった方です。例会の日はきちんと出かける日とプロバスをこよなく愛された方でした。様々な教を頂き有難うございました。

次年度は会員の意向を聞きながら所属を決めたいと次期塚本会長は個人の自発的行動を促したいとのこと。19日・21日と委員会ごとの懇親会もあります。時間もなく、本日中に決めて頂きますがよろしく願いいたします。

総会に向けて準備しています。幹事報告は以上です。

7. 各委員会からの報告

(1) 地域奉仕委員会

馬場委員長

来たる第29期の事前活動について報告します。

プロバス年度と学校年度に3カ月の差があるために、6月早々に持田次期委員長に随行し、来年3月の「合唱祭」について教育委員会との相談を開始しました。7月初旬には小・中学校校長会が開催されることが判り、ここで「合唱祭」の説明と募集を行うための準備を開始しました。

(2) 宇宙の学校

杉田サブリーダー

令和6年度の宇宙の学校が始まりました。各会場とも抽選で当選された110組を二つのグループに分

け、二つの会場で実施されます。

先陣として、6月16日八王子学園、6月30日に東京高専の会場で開かれました。



八王子学園会場入校式



気球作りに取り組む

浮上した
熱気球



(3) 交流担当

一瀬 明

5月18日に東京多摩プロバスクラブの20周年記念行事に参加してきました。総勢8名のクラブですが一生懸命おもてなしする姿が印象的でした。

今年の五所川原での全日本の総会・大会へ東京八王子、東京日野、北九州の3プロバスクラブが同道して22名で参加いたします。個人的な事情で旅行の世話を持田さんにお願ひしました。

8. 全日本プロバス協議会

一瀬幹事長

今月で全日本のお世話の任期が終わります。7月1日から旭川に移ります。7月5日には東京で常任理事会が開催予定ですが、ここで引継ぎを完了し五所川原総会の議案審議と相成ります。約2年にわたる八王子の皆様のご支援に感謝申し上げます。

訃 報



濱野幸雄会員が5月23日に逝去されました。11代会長として、クラブの発展に尽力されました。

謹んでご冥福をお祈りします。

濱野兄を偲ぶ

岩島 寛

濱野兄の突然の訃報を知り、何とも言えない寂しさを感じています。彼とは七十年の長い付き合いで、深く親交を温めた仲でした。大学に入学したその日の偶然の出会いに始まる付き合いです。二人共八王子から電車通学し、共に寮生の仲間たちと青春を謳歌したものでした。彼は呉羽紡績に就職しましたが、後に東洋

紡績に吸収合併され、そこで大変活躍されて、中南米のエルサルバドルの工場長を長年務め、その後明石、小松島、高岡と工場長を歴任されました。工場を管理することは心身共にハードで、彼は糖尿病を患い、奥様は彼の健康を心配され、定年を待たずに六十歳手前で退職し、八王子に帰ってきました。彼とは家族ぐるみの楽しい付き合いをさせていただきました。彼は八王子に帰ると直ぐに、東京八王子プロバスクラブの創設に参加し、私に参加を強く呼びかけてくれましたが、会社を経営していましたので、十三年後に私も入会させていただきました。彼のお陰でプロバスに参加したことは、退職後の人生を謳歌するのにこんな良いコミュニケーションの場はないと、彼に深く感謝しています。濱野君、天国で安らかにお休み下さい。もうじき、再会できるのを楽しみにしています。

<年度末懇親会>

一年間の活動を慰労するための懇親会が開催されました。

ボランティアグループ「舞楽座」の方々の演芸を楽しんだ後、本部を初め各委員会・宇宙の学校プロジェクトなどの各会員が壇上にてそれぞれ挨拶されました。



「舞楽座」の方の 南京玉すだれ・泥鯱揃い

9.プロバス賛歌

起立・斉唱

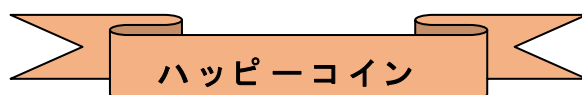
10. 閉会

塚本副会長

本日は会員 32 名の出席にて 6 月の例会を開くことが出来ました。令和 5 年度最終回の例会は、会長から会員皆さんへの一年間の協力へのお礼の挨拶で始まりました。ハッピーコインは 24 枚頂き、うれしいこと、お祝いごと、プロバスの 1 年間の活動への喜びなどの声に、祝いや納得の拍手が湧きました。会員からの祝いの声かけや呼びかけもありました。会員の笑顔が多くテーブルで見られました。また、各委員会の所属会員の一年間の活動報告や反省の声を頂きました。次年度への橋渡しと、意気込みを感じさせ

る声が多かったように受けました。この一年間の頑張りのお礼と委員会等の活躍への、慰労と喜びの大拍手が起こりました。その後、この一年間の会員の頑張りにのお礼と慰労の時間を持ちました。それは、ボランティアグループの「舞楽座」の方々の演芸にて笑い、苦を忘れる一時を皆さんと一緒に過ごした時間でもありました。次年度へのエネルギーをもらいました。

本日をもって持田丸は航海を終了しました。一年間皆さん方一人一人の力の集積で多くの成果を上げることが出来ました。有難うございました。この皆さんの集結力を次年度にも持ち、今年以上に成長発展しましょう。これを持ちまして令和 5 年度最終例会の閉会挨拶とさせていただきます。一年間有難うございました。



◆持田丸の無事 1 年の帰航お祝い申し上げます。

野口 浩平

◆昨年植樹したヴリーツェンの桜が今年は見事に咲きました。大きく育ち毎年桜祭りが催されるのを心待ちしています。

岩島 寛

◆オーストラリアの大学にいらっしゃる孫がテキサスで開催されている学生チームで開発したロケットの打上げ世界大会に参加しています。若者の行動範囲がまさしくグローバル化しているのに年寄りほただただ驚くのみです。

一瀬 明

◆今月一杯で全日本の幹事長の大役を終えることとなります。振り返るといろいろなことがありましたが、皆様のご支援に感謝いたします。

一瀬 明

◆本日の懇親会、申し訳ありませんが欠席いたします。

河西 成幸

◆会長、幹事さんご苦労様でした。

河西 成幸

◆4月に7時間半に及ぶ類上皮腫のための脳外科手術を受けました。術後の回復状況も良く、おかげで本日例会に参加できることを本当に嬉しく思います。今後ともよろしく願いいたします。

深谷 正徳

◆新しいメンバーの参加や病気長欠のメンバーが戻りシニア・ダンディーズは少しサウンドが変わりました。コロナ禍で中止していた老人ホーム訪問も始まり、秋の演奏活動も忙しくなります。健康に笑顔で謡いきることが出来てハッピー！！

立川富美代

夏の御岳吟行

池田ときえ

梅雨とも思えぬ日差しの6月12日、久しぶりの吟行会を実施しました。水と緑を求めて少し遠出、青梅線御岳を目指しました。馬場会員、野口会員の車2台で8名の参加です。土地勘のある河合宗匠のナビで車の少ない五日市経由で吉野街道へ。万緑の中、車中の会話が弾みます。

会場は御岳駅前の「河鹿園」。長年老舗旅館として有名でしたが、近年「室来美術館」として再スタートしています。この夏の企画展では、大広間に鉄斎、大雅の卷子、良寛の書があります。18室あるという客室のそれぞれに玉堂、芦雪などの絵画、芭蕉、蕪村などの軸や屏風、短冊、調度などが飾られて全館古美術の香りに満ちています。

多摩川の溪流に面した木造3階建て、趣向を凝らした客室は涼しい風が通り、眼下には急流に乗ってカヌーの練習をする若者たちの姿が見えます。対岸には川合玉堂美術館、名物の大銀杏が揺れていました。お昼は近くのそば処「玉川屋」、茅葺き屋根が目立つ古いお店です。ここで一句。

「箬蕎麦の小さきざるや青葉蔭」

午後は河鹿園の一隅で恒例の句会。御岳の風情を詠みこんで各自3句を提出します。

本来なら溪谷沿いの遊歩道を散策しながら詠みたいところですが、皆さん足元が心配なので、客室からの絶景で案を練りました。句友一同沈思黙考、この時ばかりは静かになります。名句、迷句が集まって清記、選句、披講、宗匠の講評と進み、いつもながら充実のひとときを過ごしました。河鹿園特製の人参ジュースの美味しかったこと！

編集後記

1年間、会員の皆様方には記事掲載にご協力をいただき感謝しております。新年度も引き続きよろしくお願い致します。

情報委員会一同

◆同期会に出席しましたが、45人入社した仲間のうち集まったのは僅か8人。杖も使わず元気に歩ける人は少なくなり、高齢化の波を感じましたが、4年ぶりの再会を楽しむことが出来ました。内山 雅之

◆クラブの合唱団シニア・ダンディーズに素晴らしい仲間が加わりました、その人の名は松本和也会員です。杉山 友一

◆持田会長年度最終例会です。理事役員の皆様一年間お疲れ様、ご苦労様でした。杉山 友一

◆八王子学園八王子高等学校、男子バスケット部が春の大会にて東京で優勝し関東大会に出場、そこでも山梨県代表日本航空高校を決勝戦で破り優勝しました。塚本 吉紀

◆一年間本当にお世話になりました。皆様のご協力ありがとうございました。高齢化が進む中で新たなクラブを目指して進みましょう！持田 律三

◆6月3日に79歳の誕生日を迎えました。孫4人に囲まれて、ローソクを消しました。Happyでした。持田 律三

◆孫息子のことで内緒で万歳 下山 邦夫

◆皆さん1年間それぞれのお役お疲れ様でした。今年もそれなりに頑張りますのでよろしくお願い致します。飯田富美子

◆昨日は久々の吟行会でした。御嶽の緑のきれいな溪谷でした。おそばをおいしく、生き延びた感じがします。飯田富美子

◆父の日プレゼント先渡し。スニーカー2足貰いました。杉田 信夫

◆28期も今月で期末ですね。地域奉仕委員会の皆様一年間ありがとうございました。会員の皆様のご協力にも感謝感謝です。馬場 征彦

◆先月5月にひ孫が産まれました。小さな女の子でした。有泉 裕子

◆一年間お世話になりました。有り難うございました。有泉 裕子

◆6月5日に孫娘が子どもを産んで、曾祖父になりました。ひ孫の人生に幸あれと祈ってます。土井 俊玄

◆子・孫も参加し、卒寿祝をしてくれました。ハッピー！橋本 鋼二

◆昨日は吟行会で青梅へ行って来ました。せせらぎと緑がきれいでした。田中 信昭

